

記入例:フランス方式による婚姻
(配偶者の一方が外国人)

婚姻届

受理 令和 年 月 日
第 号

フランス方式で婚姻
された場合、用紙右
側の証人欄は記入
不要。

届出を出す時の住所。すでに同居
している場合は、同じ住所。
パリ市の場合、パリ市第〇〇区と
記入。パリ市以外は県名も記入。
記号(=、・等)は書かない。

届出
吏
事
殿

外国人の氏名に含まれる
ハイフン「-」などの記号は書か
ない。ファーストネームとミ
ドルネームの間に「・」や「、」
は書かない。

外国人は西暦、
日本人は和暦で記入。

	夫になる人	妻になる人
(フリガナ)		ガイム ハナコ
(1) 氏 名	氏 名 シュネデル マルクオリヴィエ	氏 名 外務 花子
生 年 月 日	1990 年 4 月 3 日	平成4 年 7 月 10 日
(2) 住 所	フランス国セーヌサントニ県モン トルユ市ジャンジョレス広場1番地	フランス国パリ市第8区オッシュ 大通り7番地
(3) 本 籍	フランス国 Acte de mariageの記載通り、全ての 名を苗字一名の順に記入。通常夫 婦別姓。	東京都千代田区霞が関 2丁目2番地
父 母 及 び 養 父 母 の 氏 名 父 母 と の 続 き 柄	父 シュネデル、トマポールルネ 母 ベネック、ニコールアンヌ 養父 養母	父 外務 太郎 母 外務 良子 養父 養母
(4) 婚姻後の夫婦の 氏・新しい本籍	☐ 夫の氏 ☐ 妻の氏 新本籍(左の☑の氏の人すでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください) 東京都千代田区霞が関2丁目2番地	続き柄 長男 二女
(5) 同居を始めたとき	令和7 年 1 月	(結婚式をあげたとき、または、同居を始め たときのうち早いほうを書いてください)
(6) 初婚・再婚の別	☒ 初婚 再婚(☐ 死別 ☐ 離別 年 月 日)	☒ 初婚 再婚(☐ 死別 ☐ 離別 年 月 日)
(7) 同居を始める 前の夫婦のそれ ぞれの世帯の おもな仕事と	夫 妻 夫 妻 夫 妻 夫 妻 夫 妻 夫 妻 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営し 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤務 または1年未満の契約の雇用者は5) 4. 3にあてはまらない常用勤務者世帯及び会社 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をして 6. 仕事をしている者のいない世帯	日本人配偶者がすでに戸籍の筆頭者と なっている場合は、記入しない。 本籍地はハイフン(-)等を使わず戸籍の とおり。 ×霞が関2-2 ○霞が関2丁目2番地
(8) 夫 婦 の 職 業	(国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください) 夫の職業 サービス職	妻の職業 事務職
その他	令和7 年 1 月 11 日 フランス国 婚姻証書添付。	の方式により婚姻成立、 市長 作成の
届出人署名(※押印は任意)	夫 印	妻 外務 花子 印
事件簿番号		

(届出人の連絡先及び電話番号

06-1234-5678

日中ご連絡できる番号を記入。